

「せたがやでチェンバロを学ぼう!」シリーズ START 記念 チェンバロと過ごす春の休日 *in* せたがや



この度、曾根麻矢子は、
より多くの方々にチェンバロアンサンブルの
楽しさを知っていただくために
「チェンバロのアンサンブルを学べる講座」を
スタート致します。(全六回)
シリーズ最終回には、発表会も設定されます!

第一回の講座をスタートするにあたり
桜咲く世田谷の松本記念音楽迎賓館にて
記念イベントを開催致します。
皆様と楽しい一日を
一緒にいかがでしょうか♪

M a y a k o S O N E

2018年 **3月31日(土)** 松本記念音楽迎賓館

- 第1部 10:00～14:00 「通奏低音入門レッスン」** 講師: 曾根麻矢子、野澤知子
アンサンブルへの第一歩は、通奏低音を学ぶことです。
(※チェンバロを勉強する方が対象ですが、一般の方の聴講も可能です)
受講料(1名30分)/5,000円 聴講料(何時間でも可)/1,000円(学生500円)
- 第2部 14:00～15:00 「レクチャー: 通奏低音とは?」** 講演: 野澤知子
受講料/3,000円(学生2,000円)
- 第3部 15:30～16:30 「若い芽のコンサート(無料)」**
曾根麻矢子門下生による演奏
- 第4部 16:30～17:15 対談「有田正広(フルート奏者)vs曾根麻矢子～passion音楽」**
17:15～18:30 懇親会「幻のシャンパーニュを皆様と!」
～ソムリエ五十嵐祐介が語る～
対談+懇親会参加料/3,000円(大人: シャンパーニュ・ワイン込み) 1,000円(学生: ソフトドリンク込み)
★お得なセット券: 第2部+第4部/5,000円(学生2,000円)



曾根麻矢子 Mayako SONE

桐朋学園大学附属高校ピアノ科卒業。高校在学中にチェンバロと出会い、1983年より通奏低音奏者としての活動を開始。

1986年ブルージュ国際チェンバロ・コンクールに入賞。その後渡欧を重ね、同コンクールの審査員であった故スコット・ロスに指導を受ける。ロスの夭折後、彼の衣鉢を継ぐ奏者としてエラート・レーベルのプロデューサーに認められ、1991年に同レーベル初の日本人アーティストとしてCDデビューを果たした。以後イスラエル室内オーケストラのツアーや録音に専属チェンバリストとして参加するほか、フランスおよびイタリア等のフェスティバル参加、現代舞踊家とのコラボレーションなど国際的に活躍。

日本国内でもリサイタル、室内楽と積極的な音楽活動を展開するとともにテレビ、ラジオへの出演、雑誌「DIME」でのエッセイ連載、「いきなりパリジェンヌ」(小学館)の刊行など多才ぶりを見せている録音活動も活発に行い、エイベックス・クラシックスよりCDを多数リリースしている。また、2003年からの全12回、6年にわたるJ.S.バッハ連続演奏会(浜離宮朝日ホール)に続き、2010年から2014年まで全12回のF.クーペランとラモールのチェンバロ作品全曲演奏会(上野学園エオリアンホール)を行い、いずれも好評を博した。

1996年「第6回出光音楽賞」をチェンバロ奏者として初めて受賞。1997年飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。

2011年よりスタートした「チェンバロ・フェスティバルin東京」では芸術監督をつとめている。上野学園大学特任教授。

所属事務所は、AMATI。AMATIホームページはこちら <http://amati-tokyo.com/> です。



野澤知子 Tomoko NOZAWA

英国王立音楽院ピアノ科、東京芸術大学古楽科修士修了。パリ市立高等音楽院クラヴサン科にて満場一致栄誉賞付き最優秀演奏家ディプロマを取得。第17回山梨古楽コンクール第1位、ブルージュ国際コンクールディプロマ賞。文化庁芸術家在外研修員。鈴木雅明、N.スビート、C.ルセに師事する。2005、15年フランスクラヴサン協会より活躍する若手演奏家として招聘される。D.スターン指揮「Opera Fuoco」等、ヨーロッパの古楽オーケストラにて、バロックからモーツァルトまでの通奏低音奏者として活躍する。2014、15年「レ・タランリリック」(C.ルセ)オペラ製作研修員。東京にて2012、14年ラモールのオペラ「プラテ」、2015年「優雅なインドの国々」をチェンバロと指揮する。古楽アンサンブル「カンパニー・デュ・トリアノン」、チェンバロユニット「6 Mains 8 Pieds シマンウィピエ」、Studio Trianonを主宰する。

有田正広 Masahiro ARITA

1972年、桐朋学園大学を首席で卒業。同年、第40回NHK・毎日音楽コンクール(現・日本音楽コンクール)で第1位を獲得。翌年、ベルギーのブリュッセル王立音楽院に留学。74年からはコレギウム・アウレウムのメンバーとして、ヨーロッパ、日本などで活動。75年、王立音楽院をブルミエ・プリで卒業。同年、ブルージュ国際音楽コンクールのフラウト・トラヴェルソ部門で第1位となる。77年、オランダのデン・ハーグ王立音楽院に入学。半年で最高栄誉賞つきソリスト・ディプロマを得て、卒業。帰国後も、フランス・ブリュッヘン指揮「18世紀オーケストラ」、クイケン兄弟、トレヴァー・ピノック指揮「イングリッシュ・コンサート」など、内外の名手たちとも盛んに共演。ルネサンスから現代に至る400年間に変遷を遂げたさまざまなフルートを駆使する演奏は、有田ならではのもので、さまざまな時代の作品に輝かしい光を与え、人々を魅了しつづけるアーティストとして高い評価を得ている。

89年には「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」を結成。指揮者として結成記念公演を行い、絶賛された。2006年にはモーツァルト生誕250年を記念し、モーツァルトのフルートとオーケストラのための作品全5曲を自身の指揮と演奏により一晩で演奏するという快挙を成し遂げ、話題を呼んだ。09年には同オーケストラを更に発展させ、ロマン派をレパートリーとする日本初のオリジナル楽器によるオーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京」を結成。古楽器と現代楽器の枠を超えた新たな音楽的創造の領域へとさらに活動の場を広げている。

録音は「ドイツ・バロックのフルート」(レコード・アカデミー賞2部門と文化庁芸術作品賞)などアルヒーフ、DENONアリアーレ、avex-CLASSICSからリリース多数。第21回サントリー音楽賞受賞。現在、昭和音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。



「せたがやでチェンバロを学ぼう!」シリーズ [今後の日程]

多くの方々にチェンバロアンサンブルの楽しさを知っていただくために、《チェンバロでアンサンブルを学べる講座》シリーズをスタートします。

通奏低音初めての方、大歓迎!

講師: 曾根麻矢子、野澤知子



2 回	個人レッスン60分 (時間は要相談)	4月13日(金)
3 回	個人レッスン60分 (時間は要相談)	5月13日(日)
4 回	個人レッスン60分 (時間は要相談) アンサンブル練習	6月2日(土)
5 回	個人レッスン60分 (時間は要相談) アンサンブル練習	7月14日(土)
6 回	アンサンブル発表会	8月25日(土)



松本記念音楽迎賓館

- 東急田園都市線「二子玉川」駅 東口4番乗り場
東急バス [玉31]「成育医療センター」行き
または [玉32]「美術館」行き
所要時間: 20 ~ 25 分
バス停「岡本三丁目」下車徒歩 5 分
- 小田急線「成城学園前」駅 南口 2番乗り場
東急バス [都立01]「都立大学駅北口」行き
所要時間: 15 ~ 20 分
バス停「岡本三丁目」下車徒歩 5 分

住所: 東京都世田谷区岡本 2-32-15
電話: 03-3709-5951





曾根麻矢子 Mayako SONE

桐朋学園大学附属高校ピアノ科卒業。高校在学中にチェンバロと出会い、1983年より通奏低音奏者としての活動を開始。

1986年ブルージュ国際チェンバロ・コンクールに入賞。その後渡欧を重ね、同コンクールの審査員であった故スコット・ロスに指導を受ける。ロスの夭折後、彼の衣鉢を継ぐ奏者としてエラート・レーベルのプロデューサーに認められ、1991年に同レーベル初の日本人アーティストとしてCDデビューを果たした。以後イスラエル室内オーケストラのツアーや録音に専属チェンバリストとして参加するほか、フランスおよびイタリア等のフェスティバル参加、現代舞踊家とのコラボレーションなど国際的に活躍。

日本国内でもリサイタル、室内楽と積極的な音楽活動を展開するとともにテレビ、ラジオへの出演、雑誌「DIME」でのエッセイ連載、「いきなりバリジェンヌ」(小学館)の刊行など多岐にわたる録音活動も活発に行い、エイベックス・クラシックスよりCDを多数リリースしている。また、2003年からの全12回、6年にわたる「S.バッハ連続演奏会(浜離宮朝日ホール)」に続き、2010年から2014年まで全12回のF.クーランとラモールのチェンバロ作品全曲演奏会(上野学園エオリアンホール)を行い、いずれも好評を博した。

1996年「第6回出光音楽賞」をチェンバロ奏者として初めて受賞。1997年飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。

2011年よりスタートした「チェンバロ・フェスティバルin東京」では芸術監督をつとめている。上野学園大学特任教授。

所属事務所は、AMATI。AMATIホームページは こちら <http://amati-tokyo.com/> です。



野澤知子 Tomoko NOZAWA

英国王立音楽院ピアノ科、東京芸術大学古楽科修士修了。パリ市立高等音楽院クラヴサン科にて満場一致栄誉賞付き最優秀演奏家ディプロマを取得。第17回山梨古楽コンクール第1位、ブルージュ国際コンクールディプロマ賞。文化庁芸術家在外研修員。鈴木雅明、N.スピート、C.ルセに師事する。2005、15年フランスクラヴサン協会より活躍する若手演奏家として招聘される。D.スターン指揮「Opera Fuoco」等、ヨーロッパの古楽オーケストラにて、バロックからモーツァルトまでの通奏低音奏者として活躍する。2014、15年「レ・タランリリク」(C.ルセ)オペラ製作研修員。東京にて2012、14年ラモールのオペラ「プラテ」、2015年「優雅なインドの国々」をチェンバロと指揮する。古楽アンサンブル「カンパニー・デュ・トリアノン」、チェンバロユニット「6 Mains 8 Pieds シマンウィビエ」、Studio Trianonを主宰する。



有田正広 Masahiro ARITA

1972年、桐朋学園大学を首席で卒業。同年、第40回NHK・毎日音楽コンクール(現・日本音楽コンクール)で第1位を獲得。翌年、ベルギーのブリュッセル王立音楽院に留学。74年からはコレギウム・アウレウムメンバーとして、ヨーロッパ、日本などで活動。75年、王立音楽院をブルミエ・プリで卒業。同年、ブルージュ国際音楽コンクールのフラウト・トラヴェルソ部門で第1位となる。77年、オランダのデン・ハーグ王立音楽院に入学、半年で最高栄誉賞つきソリスト・ディプロマを得て、卒業。帰国後も、フランス・ブリュッヘン指揮「18世紀オーケストラ」、クイケン兄弟、トレヴァー・ピノック指揮「イングリッシュ・コンサート」など、内外の名手たちとも盛んに共演。ルネサンスから現代に至る400年間に変遷を遂げたさまざまなフルートを駆使する演奏は、有田ならではのもので、さまざまな時代の作品に輝かしい光を与え、人々を魅了しつづけるアーティストとして高い評価を得ている。

89年には「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」を結成。指揮者として結成記念公演を行い、絶賛された。2006年にはモーツァルト生誕250年を記念し、モーツァルトのフルートとオーケストラのための作品全5曲を自身の指揮と演奏により一晩で演奏するという快挙を成し遂げ、話題を呼んだ。09年には同オーケストラを更に発展させ、ロマン派をレパートリーとする日本初のオリジナル楽器によるオーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京」を結成。古楽器と現代楽器の枠を超えた新たな音楽的創造の領域へとさらに活動の場を広げている。

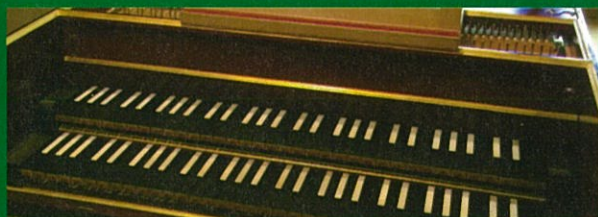
録音は「ドイツ・バロックのフルート」(レコード・アカデミー賞2部門と文化庁芸術作品賞)などアルヒーフ、DENONアリアーレ、avex-CLASSICSからリリース多数。第21回サントリー音楽賞受賞。現在、昭和音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。

「せたがやでチェンバロを学ぼう!」シリーズ[今後の日程]

多くの方々にチェンバロアンサンブルの楽しさを知っていただくために、《チェンバロでアンサンブルを学べる講座》シリーズをスタートします。

通奏低音初めての方、大歓迎!

講師: 曾根麻矢子、野澤知子



2 回	個人レッスン60分(時間は要相談)	4月13日(金)
3 回	個人レッスン60分(時間は要相談)	5月13日(日)
4 回	個人レッスン60分(時間は要相談) アンサンブル練習	6月2日(土)
5 回	個人レッスン60分(時間は要相談) アンサンブル練習	7月14日(土)
6 回	アンサンブル発表会	8月25日(土)



松本記念音楽迎賓館

●東急田園都市線「二子玉川」駅 東口4番乗り場
東急バス [玉31]「成育医療センター」行き
または [玉32]「美術館」行き
所要時間: 20~25分
バス停「岡本三丁目」下車徒歩5分

●小田急線「成城学園前」駅 南口2番乗り場
東急バス [都立01]「都立大学駅北口」行き
所要時間: 15~20分
バス停「岡本三丁目」下車徒歩5分

住所: 東京都世田谷区岡本 2-32-15
電話: 03-3709-5951



「せたがやでチェンバロを学ぼう!」シリーズ START 記念 チェンバロと過ごす春の休日 *in* せたがや



この度、曾根麻矢子は、
より多くの方々にチェンバロアンサンブルの
楽しさを知っていただくために
「チェンバロのアンサンブルを学べる講座」を
スタート致します。(全六回)
シリーズ最終回には、発表会も設定されます!

第一回の講座をスタートするにあたり
桜咲く世田谷の松本記念音楽迎賓館にて
記念イベントを開催致します。
皆様と楽しい一日を
一緒にいかがでしょうか♪

M a y a k o S O N E

2018年3月31日(土) 松本記念音楽迎賓館

- 第1部 10:00～14:00 「通奏低音入門レッスン」** 講師: 曾根麻矢子、野澤知子
アンサンブルへの第一歩は、通奏低音を学ぶことです。
(※チェンバロを勉強の方が対象ですが、一般の方の聴講も可能です)
受講料(1名30分)/5,000円 聴講料(何時間でも可)/1,000円(学生500円)
- 第2部 14:00～15:00 「レクチャー: 通奏低音とは?」** 講演: 野澤知子
受講料/3,000円(学生2,000円)
- 第3部 15:30～16:30 「若い芽のコンサート(無料)」**
曾根麻矢子門下生による演奏
- 第4部 16:30～17:15 対談「有田正広(フルート奏者)vs曾根麻矢子～passion音楽」**
17:15～18:30 懇親会「幻のシャンパーニュを皆様と!」
～ソムリエ五十嵐祐介が語る～
対談+懇親会参加料/3,000円(大人: シャンパーニュ・ワイン込み) 1,000円(学生: ソフトドリンク込み)
★お得なセット券: 第2部+第4部/5,000円(学生2,000円)